

## 議事録

会議名称：第4回朝霞地区医療介護連携推進会議

開催日時：令和4年2月21日（月）15：30～16：55

開催場所：zoom 会議

出席者：委員15名（欠席委員3名）

- 議題：(1) 令和3年度朝霞地区医療・介護推進事業報告について  
(2) 朝霞地区入退院支援ルールアンケート報告について  
(3) 令和4年度朝霞地区在宅医療・介護連携推進事業について  
(4) 新型コロナウイルス感染症の医療、介護の現状について（情報交換）  
(5) その他

### 1. 開会

### 2. 議題

#### (1) 令和3年度朝霞地区医療・介護推進事業報告について

事務局：資料に沿って報告

浅井委員長：今後の課題として、看取りと急変時の対応は、ネットワークを組んで、より強固な連携にしていく必要があるのではないか。MCSの活用プラスMCSを超えたツールの活用を議論に。

山口委員：訪看のネットワークはどのように進んでいますか？

事務局：朝霞地区内36ステーションのうち、24ステーションが連携シートを提出している。66.6%。連携の目的は、「訪問看護ステーションの協力連携を深める、朝霞地区住民ニーズに対応するサービスにつなげることができる、災害時の情報共有、看護実践能力の向上、訪問看護ステーションの役割を地域住民へ広報活動できる。」というところです。

鈴木委員：現在コロナ禍で、というところでは、ステーションが機能しないときにどのように連携していけるか検討しているところです。

#### (2) 朝霞地区入退院支援ルールアンケート報告

事務局：資料に沿って報告

山口委員：ケアマネジャーから病院への入退院情報提供の有無について、「よくある」が5%だったので、割と少ないということが見受けられた。周知の必要がある。

浅井委員長：ケアマネジャーから情報を頂くことに医者としても慣れていない。このあたりの取組については、まだまだ啓発が必要。その情報が生きた情報として有難いという事がわかってくると思う。弛まずやっていきたい。紙運用だけでなく、ITを利用したい。

上島委員：ケアマネジャーからの情報について、包括の（要支援の方の情報）ケア

マネジャーからもお願いすれば、同じ書式で情報頂けるのか。

事務局 : アンケートの対象には、地域包括支援センターも入っていて、現状としては使っていないという回答になる。啓発していく作戦の中に今のご意見を取り入れて、来年度反映していきたい。

### (3) 令和4年度事業計画

事務局 : 資料に沿って報告

浅井先生 : 在宅医のネットワークはコロナを期に深いものになった。コロナが高齢者施設でクラスター化し、全く初診の患者さんを診ている。重症化する因子・基礎疾患がわからない。カルテ、紹介状も載せられるようなツールが欲しい。MCSの容量ではとてもできない。

川淵委員 : 介護保険の分野でも、災害時・急変時のBCP(事業継続計画)の策定が出ている。5番のトピックスのところで、BCP計画について、一緒に考えていけるといいと思います。その中でICT化も考えていきたい。

浅井先生 : 災害時はカルテがない。ネットでクラウド化出来ればいい。BCPにもつながる。

事務局 : 福祉分野のBCPに関して、行政の方からご発言ありますでしょうか。

和光市 : 把握できていない。MCSについては、新座市は個人情報審議会通されたということで、和光市も地域包括支援センターのMCS導入については、取り組んでいく

朝霞市 : 行政側から何かというのは実施していない。策定については、言われているので、研修会等は参加している。

新座市 : 他の係で、取組を検討はしていかないと考えられているが、具体的にはなっていない。朝霞地区のこの会議、広域というところは、BCPは四市で取り組んでいく必要があると思うので、この会議で取組を検討していくのは、重要である。

浅井先生 : 和光市の潤沢な予算で、N95マスクのフィットテストを購入した。和光市だけでなく四市で利用し、フィットテストを利用した研修・交流を進めていきたい。

事務局 : 職能のネットワークについて、ご意見を伺いたい。

上島委員 : ネットワークはあればいいなと思っています。それぞれ病院の機能が違う、窓口が看護師、ソーシャルワーカー、それぞれである。ソーシャルワーカーのネットワークはありますか？

山岸委員 : 違う地域で働いていた時は、ソーシャルワーカーの協会があり、研修があり、交流があった。ここのエリアはない。こちらは個人病院で私一人、周辺は大きな病院間で、あるのかなと思っている。やりとりは電話ですが、原始的で書類を頂く時は、FAXです。メールがあるといい。ソーシ

ャルワーカーの中で相談ができれば、よりスムーズに出来ると思う。リモートでやることも対応が増えてきて、ケアマネジャーのメールアドレスも分かるとよい。

- 本多委員 : ケアマネジャーの関連団体は、新座はうち。実態は分からないが志木もあると聞いている。関連団体同士のつながりはあまりない。繋がりを作っていくのは重要。和光ケアマネの会は、山口さんが代表ではないか。
- 山口委員 : 事務局です。朝霞市も私が立ち上げた。今も引き継いでいると思う。コロナ禍で、お風呂に入れなくなった時などにデイサービスの連携があるといい。デイに限らず、ヘルプも。
- 川淵委員 : 包括は、勉強会のネットワークは必要と思うが、四市ではない。市内では事業所連絡会やセンター長会など、市内の中では十分ある。
- 事務局 : 続いて、ACPの人材育成の関係で、医師以外に、ケアマネジャー、看護師などの普及の人材を養成していくことについて、ご意見を伺いたい。ACPの概念・イメージがバラバラなので、どの程度地区内が豊かになったか評価がしづらい。
- 和光市 : 和光市でACP事業、ケアマネジャー、包括、訪問看護、介護事業所向けに研修（ACP 概論）を今年度させていただいた。市民には3月行う予定だが、市民に普及するには、医師一人ではマンパワー不足。次年度以降は、各職種に分けて、ACPを考えていこうとしている。四市の広域でやれるのであれば、ACP概論を全体的に話す講演会を四市の実情に合わせたものをしていただければいいかなと思う。
- 浅井先生 : ACPは難しい。ふじみの在宅の医師が亡くなった事件も、親の年金目当てのparasite、親の亡くなり方、一日でも一秒でも長く生きていて欲しいという思いが働いているという意見もある。ケースバイケースでマニュアル化が出来ない。最期の最期まで自宅で迎えるのがいいのか、ご家族と悩みながら、最期の最期までどう方向性が変わってくるか、皆で情報を密に取り合いながら、方向性を決めていく。マニュアルを作るのは難しい。
- 出浦先生 : 埼玉県歯科医師会の代表として、2/10 埼玉県地域包括ケアシステム推進会議に出席させていただいたが、県立大学理事長の田中茂先生のご講演後、先進事例の発表（入退院支援ルールの作成等）があった。朝霞の方が進んでいると思われた。資料では、精神疾患の患者さんの往診について、取上げられていた。歯科の往診でも精神疾患の患者さんが多い。
- 朝霞市 : 朝霞市も来年度力を入れていきたい。伝える内容は統一性があつた方がいい。情報の発信についてはぶれない方がいい。ACPを看取りに位置付けているが、看取りではないのではないかと。日常の療養生活を幸せに過

ごしていくところから人生の最終段階を考えていけたらいい。皆さんと意見交換できたらいいと感じている。

(4) 新型コロナウイルス感染症の医療、介護の現状について

事務局 : 新型コロナウイルス感染症に関しての現状の情報共有していきたい。

石川委員 : コロナに関して、職員は日本財団のPCR検査を毎週受けて、陽性の職員がいないということを確認して業務。ご利用者様に関しては、ショートステイの利用を控えてもらっている。ショートの方は長めに2週間以上で対応してもらっている。新規入所はその方の状況によって違うが、5日~1週間くらい個室で過ごしてもらい、その後4人部屋へ。認知症の方は、マスクや蜜にならないなど守れない方がいらっしゃるの、外から持ち込まないことを徹底している。

浅井先生 : 現状について、毎日朝霞管内で1000~800、横ばいで続いている。特養で、100床規模で、感染が起きるとクラスターが防げない。生活は密、同じ空間、マスクは出来ない。ほぼ感染していく状況。ただ、デルタと違い、酸素投与が少ない。5件くらい。その後も何とか持ちこたえられる。入院をお願いしたのは1名。感染数が多い割に重症化していない。ブースター接種をしているフロアは発症が少ない。施設はブースターが途中で終わっているので比較できる。職員の感染についてはマスクが一番大事。

山口委員 : 日本財団のPCR検査キットを週1回行っている。ご家族が陽性でヘルパーさんが出られなくて困っているとか、職員のお子さんが学級閉鎖で出られないですとか、そういったところで困っている。

本多委員 : 新座でも、デイサービスで出ている。デイがお休みになると、お風呂に入れない利用者が出てくる。その間、お風呂に入らない、体を動かさないと身体機能が落ちてくる。横のつながりで、難しいと思うが、連携できるといい。

山口委員 : 本人ではなく、ご家族が陽性になった時に、狭山の泊まれるショートを利用したケアマネもいて、どこに連絡を取った方がいいか、送迎をどうするかなど困難であった。ケアマネ会でも情報共有している。

事務局 : 情報の整理が必要、皆さんだけでなく、皆さんの仲間からの情報も集めてみたい、またご協力をお願い致します。

(5) その他

事務局 : 次回会議日程 5月16日(月)15:30~で決めさせていただきます。3月2日在宅緩和ケア研修会どうぞよろしくお願い致します。